

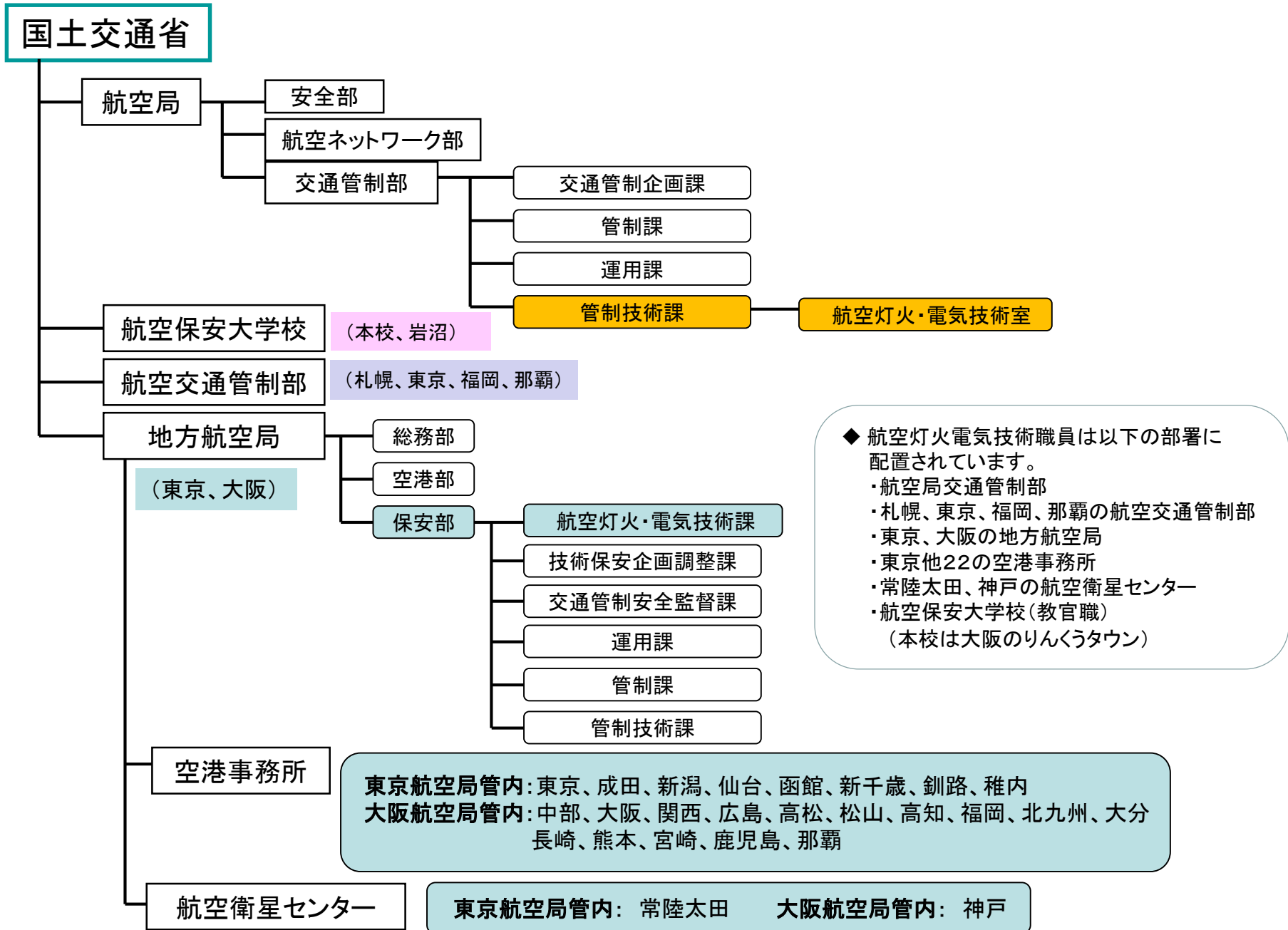
国土交通省 航空局

航空灯火・電気技術官

(業務説明資料)

平成30年7月

国土交通省 東京航空局
保安部 航空灯火・電気技術課



空港事務所等配置図

■空港事務所	(3 1)
△空港出張所	(1 9)
◎空港・航空路監視レーダー事務所	(2)
☆航空衛星センター	(2)
□航空交通管制部	(4)

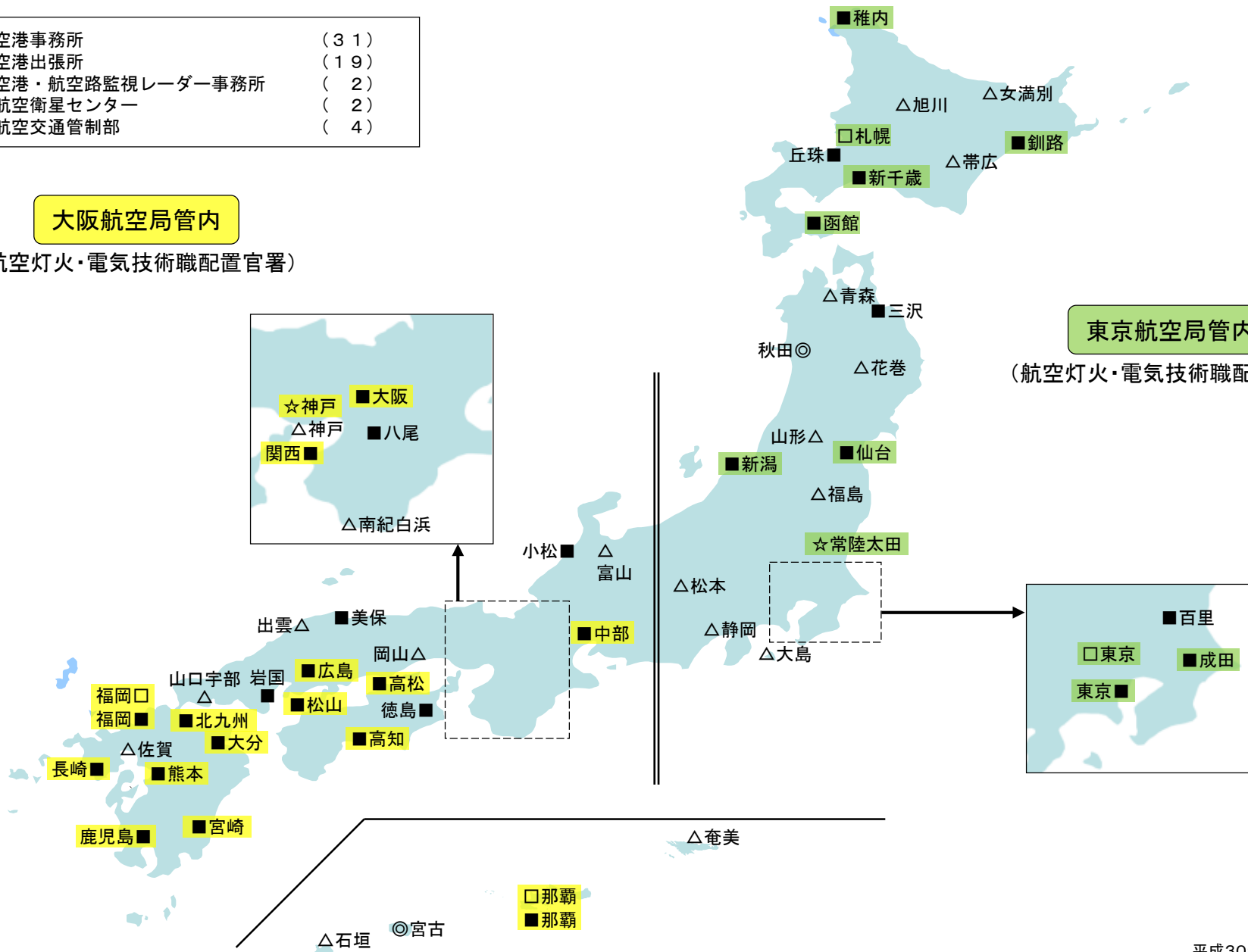
大阪航空局管内

(航空灯火・電気技術職配置官署)

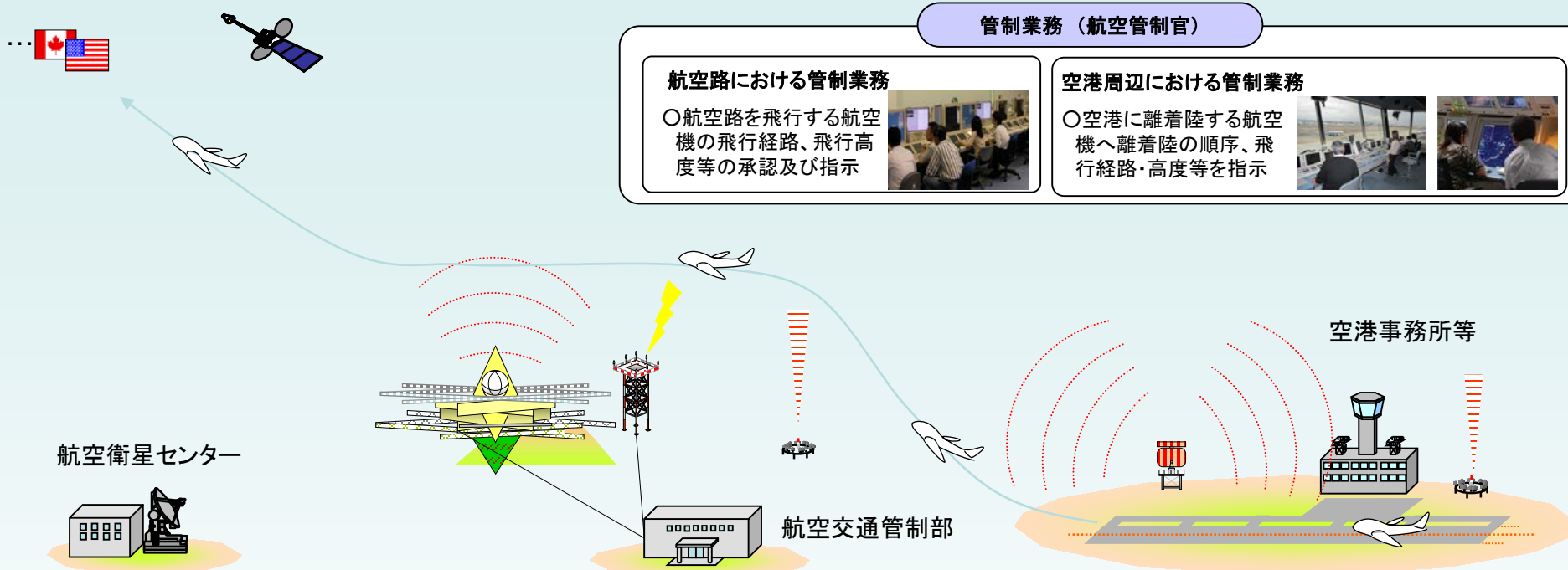


東京航空局管内

(航空灯火・電気技術職配置官署)



航空保安業務は、安全で秩序正しく、かつ、効率的な航空機の運航を確保するための業務であり、この業務には国土交通省航空局の航空保安職員が中心となって以下の業務に従事し、航空の最前線で日々、安全の確保に努めています。



管制業務 (航空管制官)

航空路における管制業務

- 航空路を飛行する航空機の飛行経路、飛行高度等の承認及び指示



空港周辺における管制業務

- 空港に離着陸する航空機へ離着陸の順序、飛行経路・高度等を指示



管制技術業務 (航空管制技術官/技術管理航空管制技術官)

- 航空機の安全で効率的な運航を確保する航空保安無線施設等(通信・航法・監視(CNS)システム)の開発・整備及び評価・改善
- 上記施設の運転監視及び保守



運航情報業務 (航空管制運航情報官/航空情報管理管制運航情報官)

- 飛行計画の審査、運航の監視、捜索救難調整
- 飛行中の航空機に飛行場や気象に関する情報の提供
- 飛行場面の点検
- 航空情報の作成及び提供



航空衛星運用業務 (航空衛星運用官)

- 運輸多目的衛星(MTSAT)及び地上施設で構成される航空衛星システムの運用、解析、保守



航空灯火・電気技術業務 (航空灯火・電気技術官)

- 夜間及び悪天候状態時に必要な航空灯火等の整備
- 上記灯火等の運転監視及び保守・点検
- 航空保安用電気設備の整備と運転監視及び保守・点検



飛行検査業務 (飛行検査官)

- 飛行検査機による:
 - 航空保安無線施設・管制施設
 - 航空灯火
 - 計器飛行方式の機能検査及び安全性評価の実施



管制通信業務 (航空管制通信官)

- 洋上を飛行する航空機に管制通報の伝達及び運航に必要な情報の提供



【航空灯火業務】

■ 航空灯火の設置・運用・管理に関する業務

【電気技術業務】

■ 航空保安用電気施設の設置・運用・管理に関する業務

保守管理業務

- 定期保守・精密点検の計画調整・実施
- 設備修繕工事の企画調整・実施
- 交換部品・消耗品調達・管理



灯火の交換作業



運用管理業務



灯火の日常点検

- 運用調整、灯火点消灯・機器停復電操作
- 日常点検、現場保守・点検作業監督
- 障害時の復旧対応・連絡調整・航空情報発出依頼



管制塔灯火運用卓点検

技術管理業務

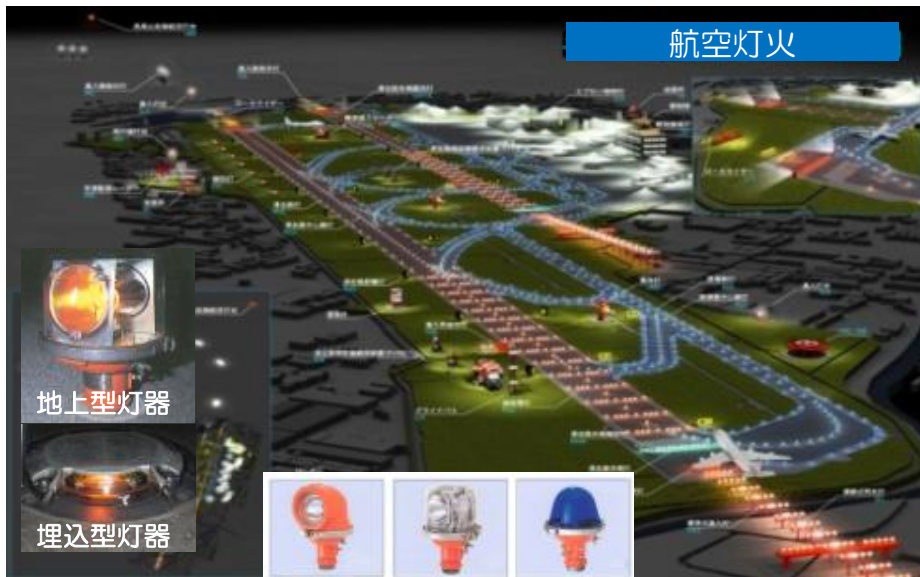
- 運用・点検データの収集整理・技術解析・寿命予測・更新計画
- 保守点検・修繕工事・整備工事の技術審査
- 土木整備事業等との調整



航空灯火の配光測定



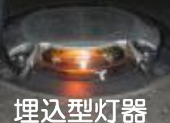
電気施設の劣化診断



航空灯火



地上型灯器



埋込型灯器



管制塔、庁舎等への安定的な電力供給

電気施設

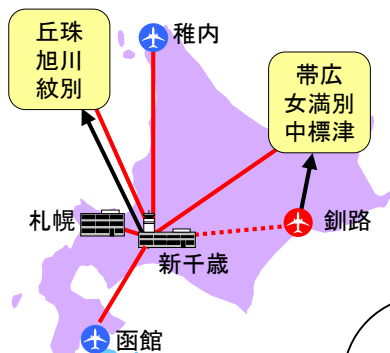


電気施設の日常点検

航空灯火・電気施設ブロック管理(集約管理)

航空灯火電気施設については、全国を5つのブロック(北海道、東日本、西日本、九州及び沖縄)に分け、ブロック管理官署と巡回管理官署、被管理官署及び巡回官署を専用の通信回線で結び、遠隔での運用管理を行っています。ブロック管理官署にて、航空灯火電気施設の常時監視を行うことにより、障害発生時の速やかな情報収集が可能となり、復旧時間の短縮化が図られています。

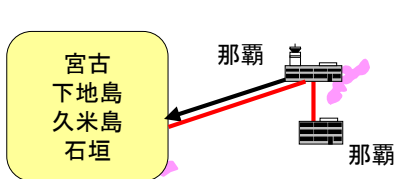
北海道ブロック



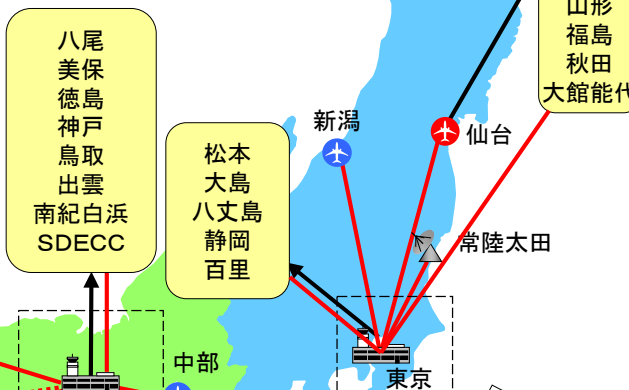
凡例

- 空港事務所(ブロック管理官署)
- 空港事務所(巡回管理官署)
- 空港事務所(被管理官署)
- 航空交通管制部(被管理官署)
- 航空衛星センター(被管理官署)
- 空港出張所等(巡回官署)
- 通信回線で接続し監視(業務支援を含む)
- 通信回線で接続し監視(運用時間外のみ)
- 巡回業務
- 支援業務

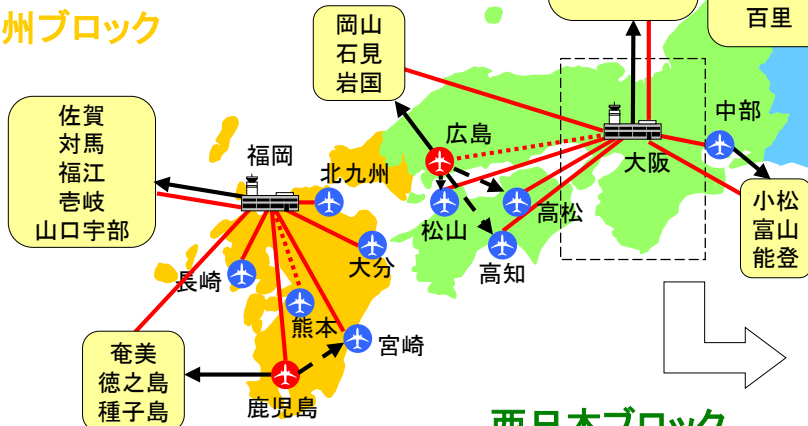
沖縄ブロック



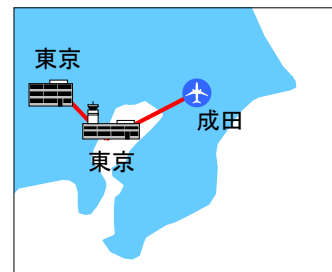
東日本ブロック



九州ブロック



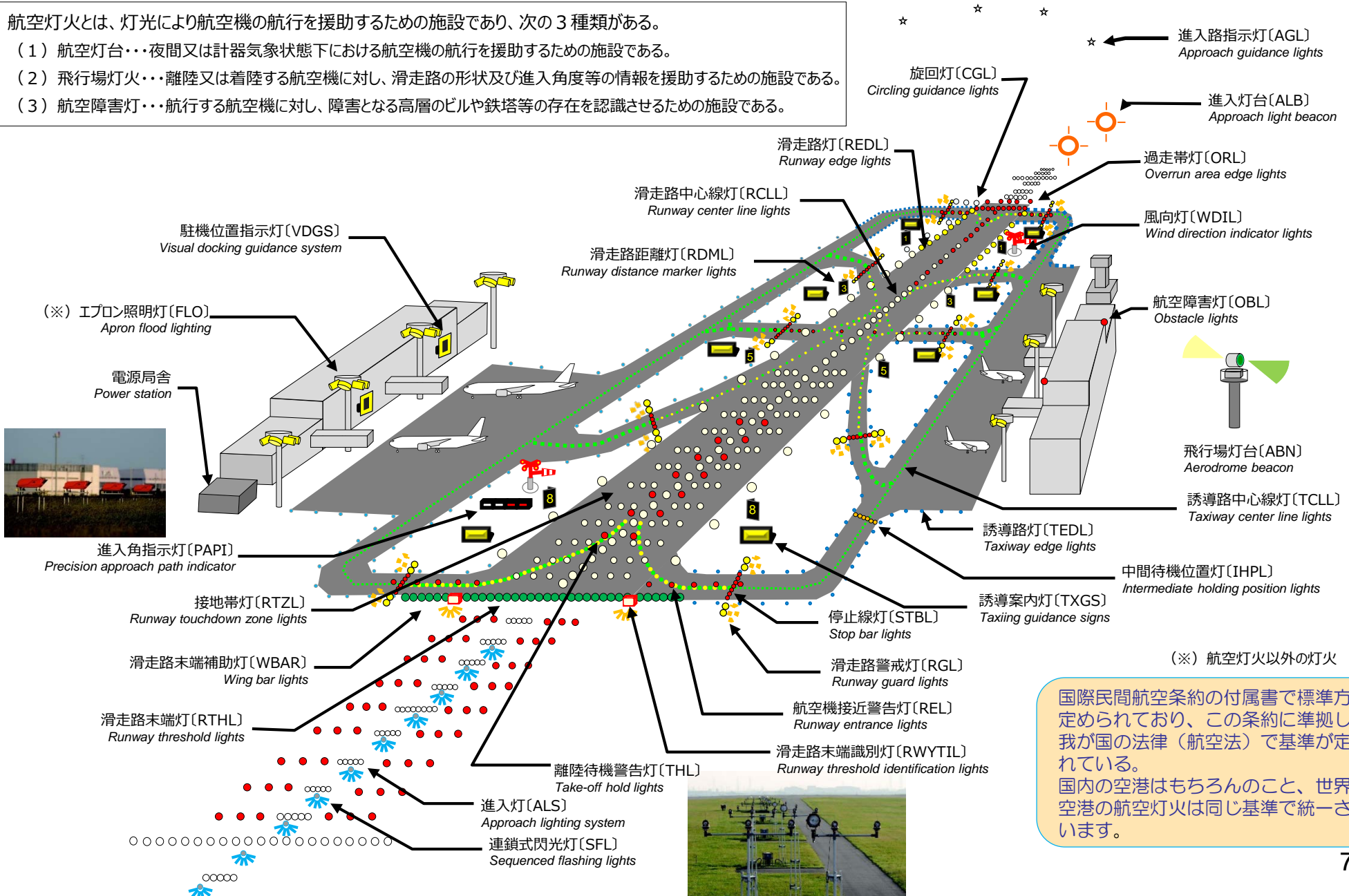
西日本ブロック



「航空灯火」の概要

航空灯火とは、灯光により航空機の航行を援助するための施設であり、次の3種類がある。

- (1) 航空灯台・・・夜間又は計器気象状態下における航空機の航行を援助するための施設である。
- (2) 飛行場灯火・・・離陸又は着陸する航空機に対し、滑走路の形状及び進入角度等の情報を援助するための施設である。
- (3) 航空障害灯・・・航行する航空機に対し、障害となる高層のビルや鉄塔等の存在を認識させるための施設である。



国際民間航空条約の付属書で標準方式が定められており、この条約に準拠して、我が国の法律（航空法）で基準が定められている。
国内の空港はもちろんのこと、世界中の空港の航空灯火は同じ基準で統一されています。

航空局で働く航空灯火・電気技術職

- 航空灯火・電気技術職員は全国の職場に約230名の職員が勤務しています。
- 航空の最前線である現場では、航空灯火や管制施設（レーダー等）等に電源を供給するシステムの運転監視、点検作業の監督業務を行っています。地方航空局では施設の更新整備、増設される滑走路の整備の計画・予算編成・工事発注業務を行っています。また、本省航空局では必要な予算、要員の確保や法律、規則等の管理、政策の企画業務を行っています。
- 約230名のうち、わずかですが**女性職員も10名在籍**しています。航空局では多くの女性の航空管制官や運航情報官が働いていますが、10名の女性航空灯火・電気技術職員も男性職員と同様に元気に働いています。結婚、出産後も育児休暇等の取得制度は充実しています。

分からないこともありますが、先輩方に教えてもらいながら、楽しくやっています。
【採用3年目(女性)：T空港勤務】

仕事は、始めは覚えることも多く大変に感じることもありましたが、暖かい上司にめぐまれ、わからないことは教えてもらいながら仕事をしています。
空港の運用に直接携わる重要な仕事で、やりがいを感じています。
【採用2年目(男性)：N空港勤務】

夜勤や滑走路内など現場での仕事もあり、体力との勝負だと感じることもありますが、自分の体を第一に業務に取り組んでいます。
情報科出身のため、電気の知識もほぼゼロからのスタートでしたが、先輩方の力をお借りしながら、日々経験を積み重ねていくところです。
国際業務に携わる機会もあり、やり甲斐を大きく感じられる職場だと思います。
【採用3年目(女性)：T空港勤務】

現在の業務は工事設計、工事発注、航空障害標識業務等と技術職要素の強い業務から行政文書処理業務まで多岐にわたる業務を平行して処理を行う、多忙な職場ではあるものの、得られるものも多い官署だと思います。
公務員らしく仕事をする方から電気に関する現場の知識経験豊富な現場派の方、航空関係の幅広い知識を持っている方、公私共素晴らしく、電気の知識は基よりそれ以外の幅広い知識を持っている方まで様々な職員がおり、人からも多くを得られる場所です。
【採用5年目(男性)：地方局勤務】

1官署目と2官署目で違う部分はありますが、空港運用に関わるという部分は同じで、日々責任を感じながら業務に取り組んでいます。
先輩方の姿を見て日々勉強中です。
【採用2年目(男性)：H空港勤務】

空港の航空灯火や電源設備に係る工事等の設計業務を主に行っています。
空港の重要な施設に携わっていることを認識しつつ、やりがいを感じながら業務に取り組んでいます。
【採用5年目(男性)：地方局勤務】

初めはわからなかったこと多かったけど、色んなことがわかるようになって仕事が楽しいことが多くなりました。
これからも先輩にたくさんのことを教わりながら日々勉強中です。
【採用2年目(女性)：F空港勤務】

学生時代は情報科だったため電気については分からないことばかりで苦労することもたくさんありますが、先輩方が優しく丁寧に教えてくれるのでとても働きやすい職場だと思います。
一日でも早く仕事を覚えて早く一人前になれるように頑張ります。
【採用2年目(女性)：F空港勤務】

まだまだ分からない事がたくさんありますが、上司の方々や先輩方がわかりやすく教えて下さったり悩んでいる時は相談にのって頂いたり、とても働きやすい職場です。
仕事だけでなく、人間的にも成長できるように日々業務に取り組んでいます。
【採用6年目(女性)：本省勤務】

発注した作業の監督や調整などの業務を行っています。
大変な業務も多いですが、分からないことは、先輩から丁寧に指導していただけるので日々感謝とやりがいを感じています。
研修制度も充実しており、航空保安大学校で実施された研修は自身のスキルアップに繋がりました。
【採用4年目(男性)：F管制部勤務】

採用後の配属先と研修体制

◆新規採用職員の配属先

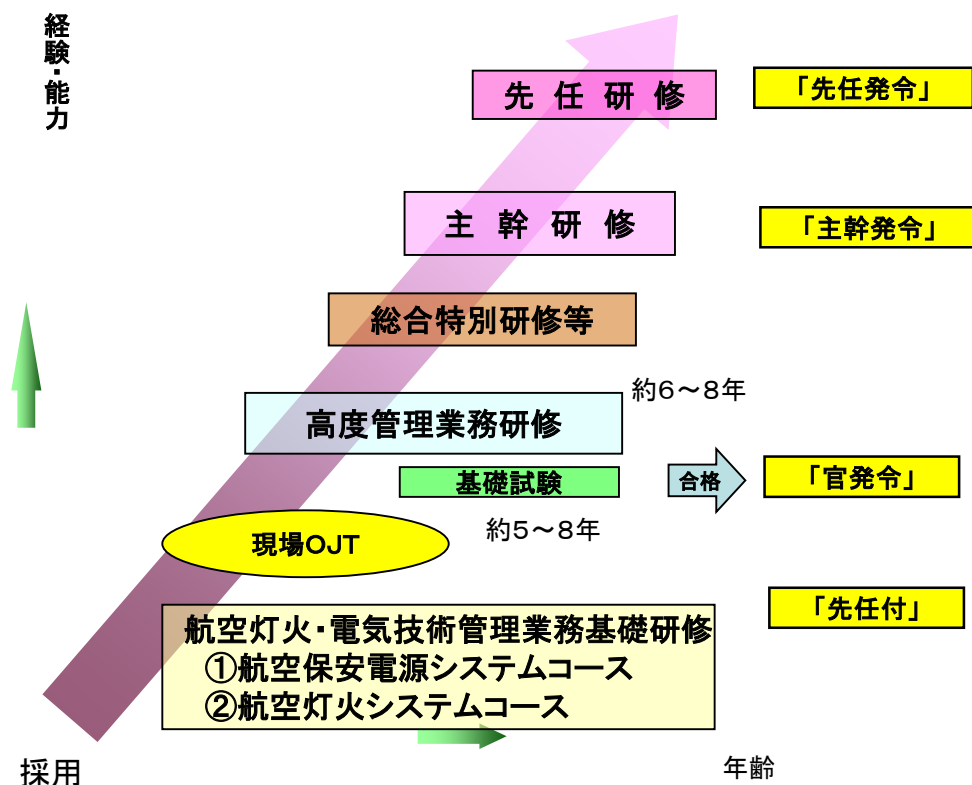
採用後は原則として、次の空港に配属されます。

- 新千歳空港
- 東京国際空港
- 大阪国際空港
- 福岡空港
- 那覇空港

※採用後は、概ね3年ごとに全国の部署への異動があります。

◆航空灯火・電気技術官の研修体制

航空保安大学校にて実施



◆その他研修

- 国土交通省新採用職員研修
- 人事院が行う行政職研修
 (必要に応じ受講)
- ・中堅係員研修
- ・係長研修
- ・課長級研修 等々

◆ 普通自動車免許(必須)

空港内における航空灯火電気施設の
保守管理業務等を行うための移動手段
として必要です。
(一般道路の運転は原則として行いません)



◆ 電気主任技術者免状

電気主任技術者の専門分野は、電気に関する理論、電力、機械、法規と多岐にわたっており、航空灯火・電気技術業務を行うための基礎知識として必要ですので、採用後、職場で実施する研修制度等を活用して、早期の取得につとめてください。



職員の待遇について

給与及び諸手当(通勤手当等) 規定によります。

宿 舎 希望により国側で宿舎を用意します。
個人でアパート等に入居する場合は、規定に基づき住居手当が支給されます。

勤務時間 平日は、原則として08:30～17:15までです。
なお、新千歳、東京、大阪、福岡、那覇空港事務所及び福岡航空交通管制部は、一部シフト制勤務となっています。
●日勤 (08:30～16:45) → ●夜勤 (16:00～翌日09:00) → ●休日
の繰り返し勤務となります。(3直4交替勤務)
また、釧路、広島、熊本空港事務所の勤務は、変則勤務(早番・遅番)で休日出勤があります。

休 日 土曜日、日曜日、祝日、夏季休暇及び年末年始。
年次休暇として年間40日(前年より繰越し最大20日を含む)
但し、新規採用者の初年度年休日数は、採用時期により異なります。
その他、規定により以下の
休暇取得が可能です。

- ・病気休暇
- ・出産(産前・産後)休暇
- ・育児休暇など



東京国際空港

東京航空局の所在地及び連絡先

電気職 (電気・電子・情報)

官庁訪問を希望される方は、事前に電話予約をお願い致します。

担当者：

東京航空局 保安部 航空灯火・電気技術課
課長補佐 只野

〒102-0074

東京都千代田区九段南1-1-15
九段第二合同庁舎14階

TEL：03-5275-9296 (ダイヤル)

最寄駅：

九段下駅(6番出口)下車 徒歩約5分
(東京メトロ東西線・半蔵門線、都営新宿線)

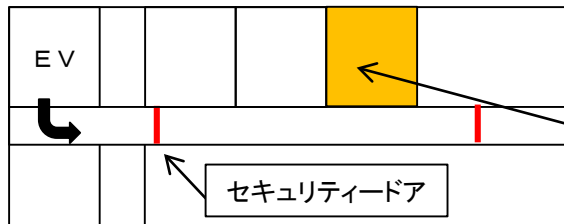
注意事項：

訪問時には、14階にセキュリティードアがありますので、扉横の内線電話から航空灯火・電気技術課(内線7433)に連絡をして下さい。



航空灯火・電気技術課

九段第二合同庁舎 14階



14階見取図

セキュリティードア